

平成二十七年度国内主要事業は本会理事会と定時社員総会において以下に承認された。

一、四月二十八日武徳殿・高段者審査会

四月二十九日武徳殿・第五十三回全国武徳祭

(本会創立百二十周年記念全国武徳祭)

二、六月七日・第二十一回巖島神社古武道奉納演武大会

三、七月二十日・第二十一回全国青少年武徳祭

四、十月二十五日・第二十一回平安神宮古武道奉納演武大会

五、青龍殿古武道大会は未定検討事項

六、春号・秋号会報出版事業

海外主要事業…

三月二十一日～二十九日・アメリカカ支部創立五十周年記念・アメリカ

武徳祭

さらに、二〇一六年度四月には第五回世界武徳祭が企画されており、本会がさらなる国際的発展をする事が期待されている。

以上に列記した本会主催事業は大日本武徳会創立百二十周年という歴史の重みと伝統の素晴らしさを継承した我々が、さらに新しい歴史の一ページを刻みこむ為に実施するものである。これらは本会の趣旨目的を貫徹する上に重要な使命を果たすべく企画されたものである。一つ一つの事業が大切な役割を果たす事は言うまでもない。会員全員の協力態勢で必ずや意義深い成果が生まれる事業になると確信したい。

私達は武道家として明日何をするかよりも、今何をするかに全力を

投じる必要がある。何故ならば今の実行が必ず未来にインパクトを与えるからである。生を受けたるものが生者必滅である事は宇宙の真理である。いずれ年老い朽ち果てる時が必ず来る。それ故、少しでも動ける時期に今何が出来るかをじっくりと考え躊躇せずに実行する事で誰もが貢献できると思う。そのひたむきな姿が必ず多くの人々の心を打つと思われる。

武士道において侍は臥薪嘗胆、死ぬまで引退など一切ないと教えられてきた。大日本武徳会においてその様な力強い侍魂の確固たる集団が今お互いに協力し合って一層努力する事で新しい世界平和に大きく貢献する日本の未来と世界の未来を築き上げられることが期待できる。全ては常ここからはじまるという気概を忘れず、先人の御恩も忘れず、前向きに思考して全員一丸となって前進していけば新しい活路は見出せると信じていたい。

今年の第五十三回全国武徳祭は本会創立百二十周年記念大会として実施されるが、会員全員が精力的に参加して盛り上げていく事で必ず素晴らしい大会になると期待する。今年のアメリカカ支部五十周年記念・アメリカ武徳祭は既に発動しエネルギーに溢れた形で着々と進行している。来年度の第五回世界武徳祭の準備も既に始まっている。時の流れは人を待つことはない。我々が与えられた時の中でその貴重な機会を全うすべきである。

次の数年間、本会で企画されている全ての事業において本会の先生方による日本武道の素晴らしい静と動の美の世界がもたらす奥深い感動は国内のみならず世界に大きなインパクトを与えるに違いないと確信したい。